

## 【坂井市】

### 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

福井県坂井市では、令和 3 年度に「坂井市教育振興基本計画」を策定し、重点目標の一つとして「社会の変化に対応した教育の推進」を掲げています。この中で「誰一人取り残すことのない、個別最適化された学び」を目標としています。

この目標の実現に向けて、学校や生徒の実情を踏まえた上で、ICT を活用した新たな教材やアプリ、学習活動を積極的に導入し、児童生徒の資質・能力の育成を推進していきます。同時に、情報社会の一員として守るべき情報モラルについての理解と実践を図ります。また、端末を有効に活用していくために、教員の ICT スキルの向上に取り組めます。

#### 2. GIGA 第 1 期の総括

##### (1) 経緯と現状

坂井市では、GIGA スクール構想に基づき、令和 3 年度に小・中学校の全児童生徒に 1 人 1 台端末を整備しました。この 5 年間で学習用端末を接続するための ICT 環境の整備を進めるとともに、教育現場での活用を推進してきました。

##### (2) ICT 施策の実施内容

- **ネットワーク環境の強化**：アクセスポイントの追加や大規模校においてネットワーク回線の増設を図りました。
- **教育支援設備の導入**：大型ディスプレイや教師用端末を整備し、授業の質の向上に努めてきました。また、Wi-Fi 環境のない家庭向けにモバイル Wi-Fi ルーターを貸し出すことで、持ち帰り学習や臨時休校等に対する学びの保障を推進しました。
- **学習活動の充実**：授業支援アプリやデジタルドリル等整備した ICT 環境を活用することで、児童生徒が情報収集、共同編集、意見共有、ICT 端末を用いた発表など、さまざまな学習活動を行えるようになりました。

##### (3) 課題

###### ①学校間・教職員間の ICT 活用のばらつき

教職員に対し定期的な研修を実施していますが、ICT 機器の授業活用が全国平均を下回っている状況です。これは授業や校務での ICT 活用頻度に学校間、教職員間で差があることが課題として挙げられます。

### ②個別最適な学びや協働的な学び

令和 6 年度の全国学力・学習状況調査により、ICT 機器の使用頻度が全国および県平均を下回っていることが判明しました。授業や家庭学習において ICT が活用されていないということは、個別最適な学びと協働的な学びが実現されていないという課題があるということにつながっています。

### ③学びの保障

全ての児童生徒が平等に教育を受けられるよう、1 人 1 台端末を活用した授業を推進していますが、年々増加する不登校児童生徒への支援の充実が課題となっています。

## 3. 1 人 1 台端末の利活用方策

坂井市では、GIGA スクール構想第 2 期において、端末を更新し、児童生徒 1 人 1 台の端末環境を引き続き維持します。その効果的な利用促進に向けて、以下の取り組みを進めていきます。また、第 1 期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させるための具体的な対策と改善策を検討していきます。

### ①1 人 1 台端末を積極的に活用するために

全国や県内、市内の好事例の共有や互見授業の実施を通じて、教職員の ICT 活用指導力の向上を図ります。教職員が授業において活用しやすい新しい AI ドリルを導入します。また、全ての教職員に効果的な活用方法について研修を行い、使用頻度を上げていきます。

### ②ICT を活用した個別最適・協働的な学びを実現するために

1 人 1 台端末を活用し、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びを実現するために汎用的クラウドツールや授業支援アプリのさらなる活用を進めます。AI ドリルを活用して、1 人 1 人に適した学習環境を提供し、学習習慣の定着と学力向上に取り組みます。また、今後はデータの可視化を活用して、より効果的な指導に取り組みます。

### ③全ての児童生徒の学びを保障するために

不登校者数が年々増加している状況下で、教室外から授業に参加できる仕組みの整備や、AI ドリルを活用した多様な学習機会の提供に取り組みます。さらに、1 人 1 台端末を活用し、児童生徒の健康状態の把握やいじめの未然防止を図り、安心して過ごせる学校環境を整備していきます。